

魚津駅・電鉄魚津駅周辺まちづくり協議会を開催しました

令和6年3月14日（木）、魚津商工会議所ビル5F研修室にて、第4回まちづくり協議会（委員11名が出席）を開催しました。まちづくり協議会では、令和5年度に整備された「柿の木割（線路沿い）の照明灯」「旧観光案内所跡地駐輪場」について報告するとともに、今後、整備予定の「地下道整備」「魚津駅東広場」の方向性について協議しました。

地下道整備の方向性

■ アンケート調査結果の概要

分類	主な意見内容
再整備デザイン	<ul style="list-style-type: none"> 地下道の再整備デザインは「床：淡色」「壁：金属パネル(ストライプ)」の組合せが最も多い
希望する付帯設備	<ul style="list-style-type: none"> 地下道に希望する付帯設備は「ベンチ」を望む意見が最も多い
地下道への要望・提案(主な意見)	(安全性) <ul style="list-style-type: none"> 照明を明るく／天候を問わず、滑りにくい床 (快適性) <ul style="list-style-type: none"> トイレを設置／キレイな状態を保つ／湿気・雨漏りを改善 (利便性) <ul style="list-style-type: none"> 電波がつながるように（フリーWi-Fiの設置等）

アンケート結果を踏まえ…

■ 地下道整備の方向性

- 魚津市から連想される「洞杉」や「埋没林」などをモチーフとした壁面色・デザイン（ストライプ）とする
- 利用者が進行方向を視覚的に認識できるように、アクセントカラー（山側方向：緑色、海側方向：青色）を設定

魚津駅東広場の方向性

■ 駅前広場整備の方向性

方向性①：魚津らしい整備（デザイン）

方向性②：活気と楽しさが感じられる整備（デザイン）

方向性③：わかりやすくユニバーサルな整備（デザイン）

■ 整備コンセプト



人をつなぐ、まちをつなぐ、時をつなぐ
駅まち空間の創出

■ 駅前広場の整備方針

整備方針①：公共交通（バス・タクシー）利用の安全性、利便性向上

整備方針②：一般車乗降利用の安全性、利便性向上

整備方針③：賑わい広場空間の創出

主な意見内容



分類	主な意見内容
地下道	<ul style="list-style-type: none"> 進行方向を視覚的に認識できるアクセントカラーは良いアイデアだと思う 新魚津駅等の案内サインが必要
駅前広場	<ul style="list-style-type: none"> ロータリーの渋滞等の検証が必要 かまどベンチ等、防災機能を有した広場にしてほしい

今後、ワークショップや協議会で頂いたご意見等を踏まえ、令和6～7年度にかけて地下道整備、魚津駅東広場整備を進めていきます。

